

中村康彦院長）で本格稼働したほか、ハウスメー
カーと共同で新築現場の
ゼロエミッション化の実
証研究を行っている。

針、汚物が記載された
ICタグを貼る。計量時
に画面操作で排出部署
荷姿を入力して同社サ
ーバーに情報を送る。収
集したレポートで病院側

サーバーに送られた情
報は、業務フロー改善や
リサイクル率向上、発生
量、コスト削減などを指

を行っているが、本稼働に入り、収集した情報を顧客にどのような形でフィードバックするか注目される。

同社の武藤主任研究員は、「廃棄物の選別が業務の中で無理なく行えないのは発生量削減は望めない。同システムを導入

日本総研

ICタグでデータ分析

廃棄物削減をサポート

マネジメント事業開始

同事業は、同社主権の「**インソーシアム「MATI CO2」(Material Trading System)**」の研究が進められてきた。

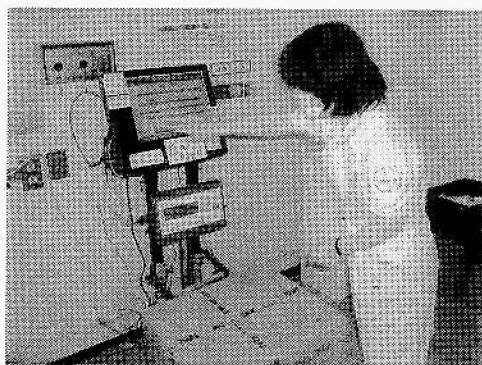
昨年10月、上尾中央総合病院(埼玉県上尾市、

上尾中央総合病院での運搬業者は、収集時に備にフィードバックされる。SPDシステム(医療材料物流管理)など、と連動した情報分析の検討も行っている。

・ガラス、プラスチック、ニックを行なう。

現在はデータ収集のみ

タッチパネルで入力を行うようです。



すること、廃棄物のリサイクルや発生量削減が進むだけでなく、職員意識改革にもつながるだろう」と語り、今後はさらに幅広い分野に展開していく意向だ。